

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	基礎数学演習第二		
英文授業科目名	Elementary Exercise in Mathematics II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥山 直樹		
居室	P-111		

公開E-Mail	授業関連Webページ
okuyama@fedu.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
(a) 主題：全学科1年次の必修科目、微分積分学第二と線形代数学第二のための留学生支援科目である。
(b) 達成瀬目標：日本語で行なわれる講義を十分理解することができ、日本語で書かれたテキストを容易に読むことができる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書：配布教材

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

I. 微分積分学

1 偏微分

2 重積分

3 級数

II. 線形代数

1 空間ベクトル

2 ベクトル空間

3 固有値と固有ベクトル

4 線形写像

(b) 授業の進め方：テキストの音読, 用語と内容の説明, 演習を中心に, 理解の程度を確認しながら授業を進め

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

る。この授業のための予習、復習は必要としない。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：授業中に行なう演習と期末試験の結果を、次のように総合評価する。

$$\text{成績評価} = (50\% \times \text{演習}) + (50\% \times \text{期末試験})$$

(b) 評価基準：以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

(1) 概念を理解している。

(2) テキストの演習問題を解くことができる。

### 【オフィスアワー：授業相談】

受講学生と協議して定める。

### 【学生へのメッセージ】

日本語でおこなわれる授業になれるまで、8ヵ月かかるといわれています。だんだん慣れてきたと思いますが、あせらずに勉強しましょう。

### 【その他】